

## 京都スタジアム検討特別委員会（第2回）

日 時 平成31年3月15日（金）午後1時30分～  
場 所 全員協議会室

---

- 1 開議
- 2 日程説明
- 3 要望について
- 4 その他



件名 (仮称) 京都スタジアムの大きな課題に亀岡市が果たすべきことに係る要望

要望の要旨 (仮称) 京都スタジアムについては、交通アクセス、設計上の課題、管理運営問題など大きな課題があります。現時点で亀岡市が主体性をもって取り組まないと、取り返しがつかない事態となります。

執行部に対して積極的に働きかけられますよう、調査審査、指摘をお願いします。

#### 要望の理由

(仮称) 京都スタジアム (以下「スタジアム」という。) は、工事が着々と進んでいますが、交通アクセス、設計上の問題、管理運営問題など、ほとんど整理されていません。このままでは市民には使用されにくいものとなります。現地の実情を一番認識されている亀岡市が積極的に取り組まれないと、次のとおり、今後取り返しがつかない事態が生じる恐れが大きいと思われま

#### 1 交通処理

##### (1) 鉄軌道利用の場合

亀岡駅の構造は一時的な大量輸送は想定されていません。通勤通学時の電車は多いが、サンガの試合を想定した増発、増車両が必要です。しかし、JRはそのような対応が可能か、現時点では極めて厳しい状況です。

増発、増車両は、現ホームで可能か、状況によっては北口の階段の拡幅、改札口の追加などが求められるが、市は負担を想定していません。

嵯峨嵐山止の車両が馬堀・亀岡・並河駅以西の車両運行を不便にしているが、これに対する市の取り組みは弱く、この程度のこともできなくて、増発、増車両は可能でしょうか。月数回程度で、どのように採算性を考えるのか試算もできていないようでは、今後の市としての取り組みは見えません。

##### (2) 車利用の場合

交通シミュレーションの実施は市議会の議決事項ですが、市民には公開されていません。しかも、道路計画として、体系がとれていない市道北古世西川線が暫定供用されたため、現状の道路使用の実態は著しく変動しており、実態把握さえ見直さなければならない状況が生じています。今から、交通シミュレーションができるのでしょうか。

なお、市道北古世西川線のように速度制限がない道路は全国的にまれな道路ですが、この道路が主要アクセスになると見込まれます。

駐車場はどうなるのでしょうか。まだ、京都府は、市長が反対されている。亀岡運動公園を臨時駐車場とか、保津川左岸の駐車場らしき場所の使用とありますが、占用許可は出るのでしょうか。地元の了解は得られるのでしょうか、利用者はあるのでしょうか。

## 2 設計（現設計）の問題

(1) 設計に携わった職員が、サッカー以外の競技の動き、利用者の動きを見ていないことがそもそもの問題です。

また、各競技ができるか否かは、基準に合致しているかではなく、その競技に来ていただけるのかとの視点がありません。特にアウェーチームの視点は全くありません。

特に心配なのは電気設備が 1 階床置きです。これでは水害や湿度に耐えられるのでしょうか。

(2) サッカー利用について

ア ハイブリッド芝が 2017 年スタジアム基準で認められたにもかかわらず、天然芝にこだわることは芝の育成に良くない亀岡の日照条件などを理解していないことです。

選手ヤードには設計書ではドアがない、このままでは試合ができません。

イ スタジアム下の通路が狭すぎてタンカも曲がれない、他のスタジアムではありえない設計です。

ウ 大部分のスタンドが 1.2m の高さになっているが、子供たちや年配者などには危険です。

エ レストラン、個室観客席は利用可能性が低い。

オ 女性用トイレは、男性用の大小合わせた 3 倍は必要です。最新施設でウォシュレットでないトイレは考えられません。

(3) ラグビー利用について

ア 社会人の場合、1 チーム 50 人から 60 人程度の選手、コーチ陣、データ管理・選手補助などスタッフがフィールドと同一平面で常駐することが欠かせない。アメフトの場合は、競技場を使用する Div 1 ではそれが 100 人から 200 人以上となっています。Div 2 以下では校外施設は使いません。

つまり、スタンド下に大きなスペースが試合のためには不可欠です。

イ 大学ラグビーは低料金の施設を利用しています。現実には、宝ヶ池、西京極、皇子山などがあり、十分需要を満たしています。

ウ ラグビーの国際試合は、2万人では狭すぎます、空港、高速道路、ホテルなどが不可欠です。

(4) フリークライミング施設について

ア 利用計画が全く見えない。エリートは自宅などに設備を持っている。

府内にも多くに施設があます。需要が見込めない。

イ 宿泊施設のない亀岡での合宿はあり得ない。

ウ 管理費だけかかる施設

4 管理運営問題について

(1) 管理運営方式は財産管理の在り方に直結するが、市は府と調整もしていない。土地を行政財産としている市の財産管理の在り方は危険負担だけ負う方式です。

(2) 運営権制度がふさわしい施設と思われれます。当面、管理運営に指定管理者制度を導入するなどすると、追加工事など無駄な経費が発生します。

(3) 管理運営の在りからから、施設内容を変更すると利用者が困ることも生じます。

5 その他

(1) 光秀館などの一時的施設は、後の負担につながるばかり、施設目的と合わないです。地域振興を考えるならば、スポーツ関連施設とすべきです。

(2) 遊船の延伸などは、堆積土砂、河川改修、交通アクセスなどの整備が先行しないと進まないし、関係機関との調整が不可欠です。特に河川管理上係留場所を新たにつくることは不可能に近いです。

(3) 市におけるスタジアムの管理活用を考える組織は、「まちづくり交通課」らしいのですが、今の組織・構成では無理です。

2019年2月25日

亀岡市議会議長 様

要望者

亀岡市篠町馬堀池ノ下27-5

松尾 寛治